

主な輸出先国	シンガポール、香港等（2023年）	輸出実績	120百万円（2023年）
対象となる地域	山梨県山梨市・甲州市・笛吹市・南アルプス市、茨城県桜川市・筑西市		

輸出産地の概況

- ・ 自社で生産したぶどう及び近隣生産者から集荷したぶどうを、選果・こん包（自社選果場の運営）の上、国内外の販売先へ出荷を行っている。

輸出に向けた規制・ニーズに対応した生産・流通の取組

- ・ 台湾向け輸出においては、現地ニーズを踏まえ、大房のブドウの輸出を実施。また、農薬散布が抑えられる環境にある茨城県に新規圃場を設け、台湾向けへの輸出を強化する。
- ・ 植物検疫証明書の添付や残留農薬基準値の対応（台湾）、生産園地及び選果こん包施設の登録、農薬残留基準値等（タイ）の対応を実施。

アピールポイント

★代表取締役は、農林水産省「輸出に取り組む優良事業者表彰（農林水産大臣賞）」及びGFPアンバサダーを受賞している。
また、複数の生産者と連携した上で、日本のぶどう輸出を牽引しており、先進的な輸出産地づくりを推進している。



生産者との連携



産地サミットin山梨の様子（アグベル主催）



台湾防除体系に対応したぶどうの新規輸出産地づくり（茨城県）



集荷機能の強化による大規模輸出産地化の促進（茨城県）